

オンライン英会話委託業務提案審査基準

評価項目及び評価の視点	配点
<p>1. 受託業務に対する基本的な考え方</p> <p>① 児童を対象に外国人講師によるオンライン英会話を実施するにあたり、受託業務に対する基本的な考え方、方針が明確であるか。</p> <p>② 本業務の目的を反映した提案となっているか。</p>	10
<p>2. 実施体制及び危機管理体制</p> <p>① 本業務の受託にあたり、過去の義務教育課程における同種業務又は類似業務の実績は十分であるか。</p> <p>② 本業務の実施にあたり、十分な実施体制（専任担当者を中心とした全体管理、教材作成、オンライン英会話の提供、現地スタッフの運営管理、通信ソフトの保守やトラブル対応など）を有しているか。</p> <p>③ 外国人講師を含む従事者の欠員、システムの不具合等のトラブルに対する対応策、予防策等の危機管理体制を十分に有しているか。</p> <p>④ 学校からの要望、キャンセル等の計画変更に対応できる体制を有しているか。</p> <p>⑤ 個人情報の保護について十分な配慮があり、社内規定等が整備されているか。</p>	25
<p>3. 外国人講師の確保及び指導力の担保</p> <p>① 講師の採用基準や選定方法は的確か。</p> <p>② 講師の研修の履行状況が示され、英語を母国語としない者に対する優れた指導力を有する講師の配置が可能か。</p> <p>③ 日本文化に対する理解があり、児童と信頼関係を築くことのできる講師の配置が可能であるか。</p> <p>④ 児童の学習能力・習熟度に応じた対応や特別支援学級の児童への対応は適切であるか。</p> <p>⑤ 講師の改善又は変更の要請に対し、適切かつ迅速な対応が可能であるか。</p>	20
<p>4. 提案内容の妥当性及び実現性</p> <p>① オンライン英会話の実施方法（教材を含む）の提案は、児童が英語に興味関心をもって主体的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する内容となっているか。</p> <p>② 新学習指導要領の実施に向けた取組など、文部科学省の学習指導要領等に基づいた学習指導案を学校と協議のうえ作成することが可能か。</p> <p>③ 児童の情緒面の評価の方法が適正であるか。</p> <p>④ 通信障害が発生した場合、的確かつ迅速な対応が可能であるか。</p> <p>⑤ オンライン英会話の円滑かつ効果的な実施に向けた教職員を対象とした講習の内容は適切であるか。</p>	25
<p>5. プレゼンテーションの的確性</p> <p>① 提案書の内容をよく補完して説明しており、質疑に対する説明が明快かつ的確であるか。</p>	5
<p>6. 見積価格の妥当性</p> <p>① 見積額は提案内容に見合う適正な金額であるか。</p>	15
合計	100